



2020年 第2四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン

2020年8月7日

1. 2020年第2四半期累計業績	・・・	2
2. 2020年通期業績予想	・・・	14
3. 配当予想の修正について	・・・	18

1. 2020年第2四半期累計業績

2020年第2四半期におけるCOVID-19の影響

市場環境

- 各国での非常事態宣言に端を発したグローバル経済活動停滞により、新車用／補修用ともにタイヤ需要が減少。特に欧米での落ち込みが大きく、6月に入り回復の兆しが見られるも、引き続き予断を許さない市場環境が継続。
- ORRやTBR REPの需要落ち込みが相対的に緩やかな一方、外出規制や移動制限の影響を受けたPSR需要は弱く推移。ただし、HRDの相対的な強さは継続しており、その底堅さが際立つ。

タイヤ生産の状況

- 需要減や各国政府方針に基づき、欧米工場を中心に一時休業を実施。全工場で操業を再開し、段階的に稼働率を上げている。
 - ・日本：5月初旬、5月末の2回に分け、数日間の稼働停止。
 - ・北米：3/20より全工場段階的に休業 ⇒ 4/13以降に順次稼働再開、5月下旬までに全工場稼働。
 - ・欧州：3/17より一部を除き休業 ⇒ 4/14以降、全工場段階的に稼働再開。
 - ・その他：インド、ブラジル、ロシア、南アフリカ等で工場一時休業 ⇒ 7/20以降、全工場稼働再開。

サプライチェーンの状況

- 多くの地域で、時短操業、配送頻度減少、一部店舗閉鎖、営業活動自粛などの影響あり。
- 「社会を支える」ことを念頭に置いた各国／各現場の努力により、COVID-19感染リスクを最小限に抑えながらほぼ全地域においてタイヤ配送／販売網操業を維持することができ、サプライチェーン寸断による供給不足は発生しなかった。

COVID-19影響を受けた第2四半期の取り組み

■ 危機への機動的対応

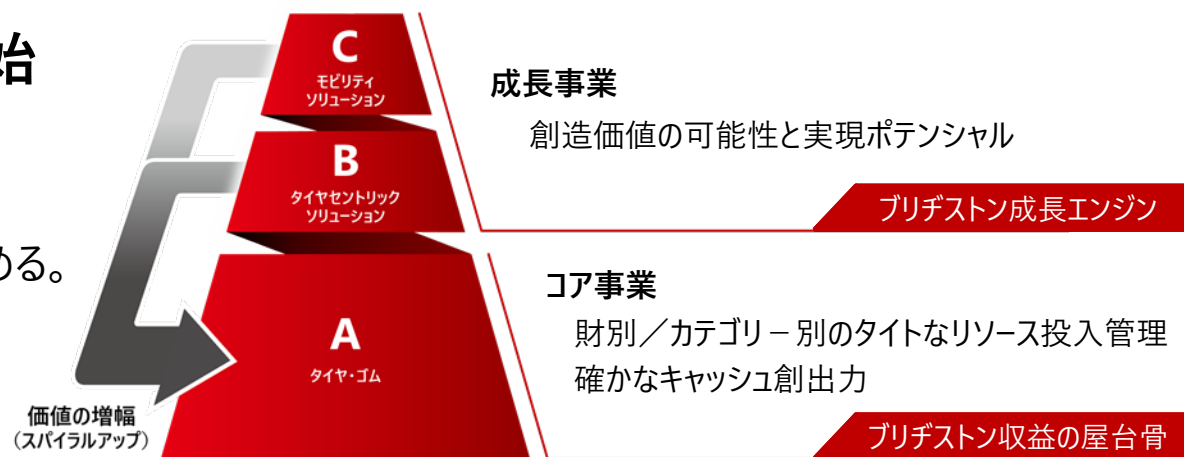
- 「キャッシュオリエンテッド経営」推進：機動的資金政策による十分な流動性確保。
⇒ コロナ禍においても、格付機関信用格付は高水準を維持。

2019年 格付	Moody's	A2	2020年 格付	Moody's	A2	(5月リリース)
	S&P	A		S&P	A	(7月リリース)
	R&I	AA		R&I	AA	(5月リリース)

- 費用・投資の抜本的見直し：将来成長に必要なリソースは投下しつつ、リターン／キャッシュ最大化を念頭に投下対象を厳選。
20年は年初計画対比 営業費 1,350億円、投資 1,120億円を削減見込み。
⇒ 短期視点だけでなく、Global Footprint最適化等、中長期視点で取り組む。

■ 中長期事業戦略に則ったリソース再配分の開始

- リソース配分の優先順位付けを行った上で、コア事業を中心に、リターンが確かな事業にリソースを集中する。
- 事業評価軸を設定し、リソース投下する事業の明確化を進める。



2020年第2四半期累計（1月～6月） 事業環境



為替

- USD、EURともに円高に推移

1USD=108円 1EUR=120円（参考）19年上期 1USD=110円 1EUR=124円



原材料

- 天然ゴム、原油ともに前年を下回る



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- COVID-19影響により需要大幅減
- 財別ではPSR、客先別ではOEの落ち込みが大きい

相場動向（平均価格）推移

	2019年		2020年
	上期	下期	上期
天然ゴム 〈TSR20〉※1（¢/kg）	146	136	122
天然ゴム 〈RSS#3〉※1（¢/kg）	173	156	148
原油 〈WTI〉（\$/bbl）	57	57	37

※1 Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

タイヤ需要（本数前年比） 当社推定値

	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP
日本	73%	87%	88%	87%
北米	56%	84% ※2	58%	89% ※2
欧州	61%	76%	64%	82%

※2 Source: U.S. Tire Manufacturers Association (USTMA)

2020年第2四半期累計（1月～6月） タイヤ販売：対前年販売本数比



PSR/LTR

グローバル	72%
-------	-----

新車用タイヤ (OE)

グローバル	63%
-------	-----

日本	75%
----	-----

北米	54%
----	-----

欧州	66%
----	-----

中国・アジア・大洋州	66%
------------	-----

補修用タイヤ (REP)

グローバル	78%
-------	-----

日本	83%
----	-----

北米	77%
----	-----

欧州	80%
----	-----

中国・アジア・大洋州	76%
------------	-----



TBR

グローバル	78%
-------	-----

新車用タイヤ (OE)

グローバル	62%
-------	-----

日本	88%
----	-----

北米	54%
----	-----

欧州	61%
----	-----

中国・アジア・大洋州	62%
------------	-----

補修用タイヤ (REP)

グローバル	85%
-------	-----

日本	84%
----	-----

北米	94%
----	-----

欧州	84%
----	-----

中国・アジア・大洋州	77%
------------	-----



ORR

超大型 (REPのみ)	88%
----------------	-----

大型 (OE / REP)	81% (50% / 93%)
------------------	--------------------

中小型 (OE / REP)	79% (65% / 91%)
-------------------	--------------------



PSR 18インチ以上

グローバル (REP)	75% (90%)
----------------	--------------

2020年第2四半期累計（1月～6月）連結業績

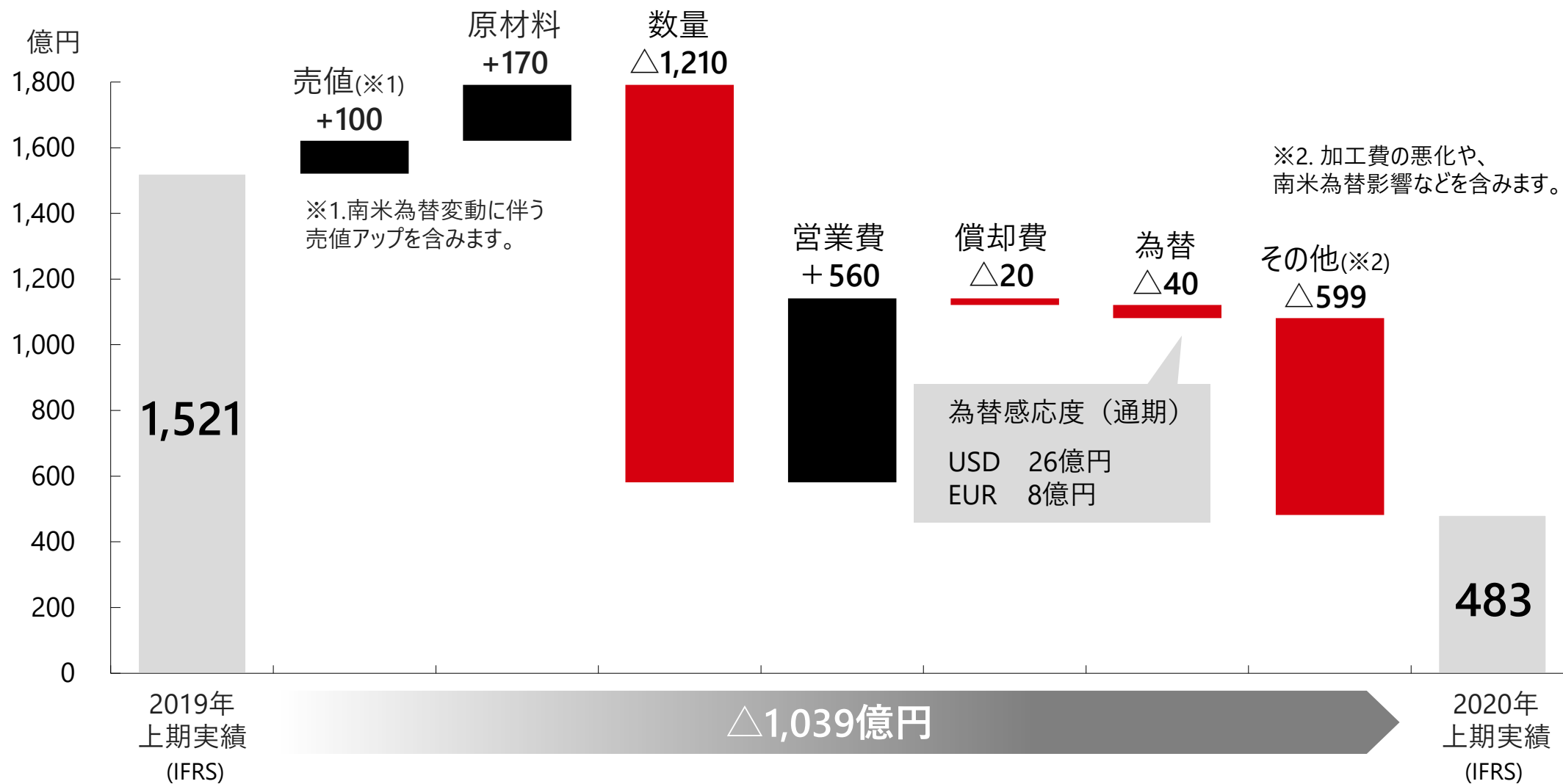
（単位：億円）

【IFRS】

2019年
第2四半期累計実績

	2019年 第2四半期累計実績	第1四半期		第2四半期		2020年 第2四半期累計実績	
		前年比増減 (%)	前年比増減 (%)	前年比増減 (%)	前年比増減 (%)		
売上収益	17,399	7,522	△11	6,032	△32	13,555	△22
調整後営業利益	1,521	498	△39	△16	-	483	△68
利益率	8.7%	6.6%	△3.1pp	△0.3%	△8.1pp	3.6%	△5.2pp
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	987	195	△65	△415	-	△220	-
USドル	110円	109円	△1円	108円	△2円	108円	△2円
ユーロ	124円	120円	△5円	119円	△4円	120円	△4円

2020年第2四半期累計（1月～6月）調整後営業利益増減要因：前年差



2020年第2四半期累計（1月～6月）セグメント別業績

（単位：億円）



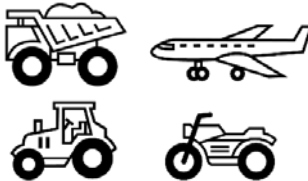
【IFRS】

	2019年 第2四半期累計実績	2020年 第2四半期累計実績	前年比増減(%)
連結 売上収益	17,399	13,555	△22
日本	4,368	3,573	△18
米州	8,311	6,467	△22
欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	3,233	2,488	△23
中国・アジア・大洋州	2,372	1,817	△23
連結 調整後営業利益	1,521	483	△68
日本	470	187	△60
米州	852	349	△59
欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	90	△134	-
中国・アジア・大洋州	211	89	△58

2020年第2四半期累計（1月～6月）タイヤ事業 財別業績

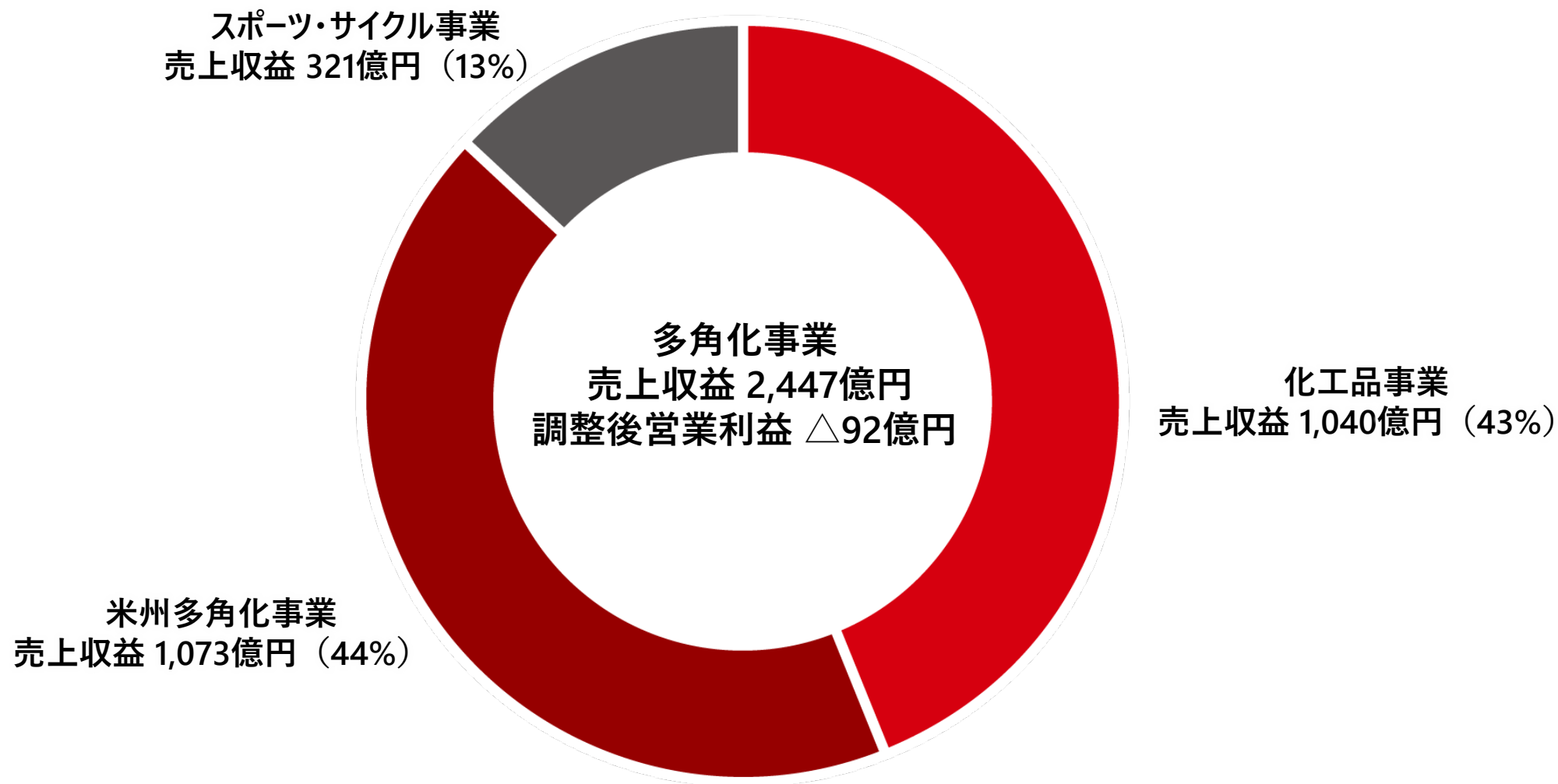
（単位：億円）

【IFRS】

		2019年 第2四半期累計実績	2020年 第2四半期累計実績	前年比増減(%)
 PS/LT ※小売・クレジットカード事業を含む	売上収益	8,380	6,292	△25
	調整後営業利益	764	98	△87
	利益率	9.1%	1.6%	△7.5pp
 TB ※リトレッド事業を含む	売上収益	4,092	2,982	△27
	調整後営業利益	424	152	△64
	利益率	10.4%	5.1%	△5.3pp
 OR/AC/AG/MC	売上収益	2,016	1,597	△21
	調整後営業利益	460	259	△44
	利益率	22.8%	16.2%	△6.6pp

2020年第2四半期累計（1月～6月） 多角化事業 業績

【IFRS】



2020年第2四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

【IFRS】	(単位：億円)	
	2020年 第2四半期末実績	対前年末
資産合計	41,470	△1,301
資本合計	22,295	△1,730
親会社所有者帰属持分比率	52.7%	△2.3pp
有利子負債〈ネット〉	4,568	+453
	2020年 第2四半期累計実績	対前年同期
営業CF	1,452	△738
投資CF	△1,041	+1,139
フリーCF	410	+401
設備投資	1,136	△125
減価償却費及び償却費	1,331	△10

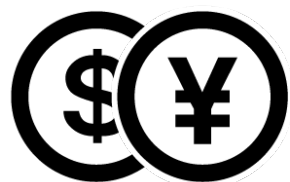
2020年第2四半期累計（1月～6月）非経常損失

（単位：億円）

調整項目	285	
COVID-19による影響	238	
減損損失	119	：ロシア工場減損損失など
政府・当局からの指示による操業停止影響	97	：COVID-19による直接的影響
イベント中止、旅費キャンセル等に係る影響	22	
その他	47	
事業再構築関連費用	47	：ユニットバス事業売却関連など
持分法株式に係る減損損失	184	
TireHub株式減損損失	173	（主にCOVID-19による影響）

2. 2020年通期 業績予想

2020年通期 業績予想策定前提



為替

- USD、EUR共に対前年円高を想定
1USD=106円, 1EUR=119円 (下期 1USD=105円, 1EUR=119円)
参考) 19年年間 1USD=109円 1EUR=122円 2月計画年間 1USD=108円 1EUR=121円



原材料

- 天然ゴム、原油ともに前年を下回る価格水準を見込む



タイヤ需要 (グローバル)

- 第2四半期をボトムとし、当面は緩やかな回復を見込む。
- 第4四半期にかけて、COVID-19第2波リスク需要減を織り込む。
(第2波による需要影響は第1波より小さい規模を想定)

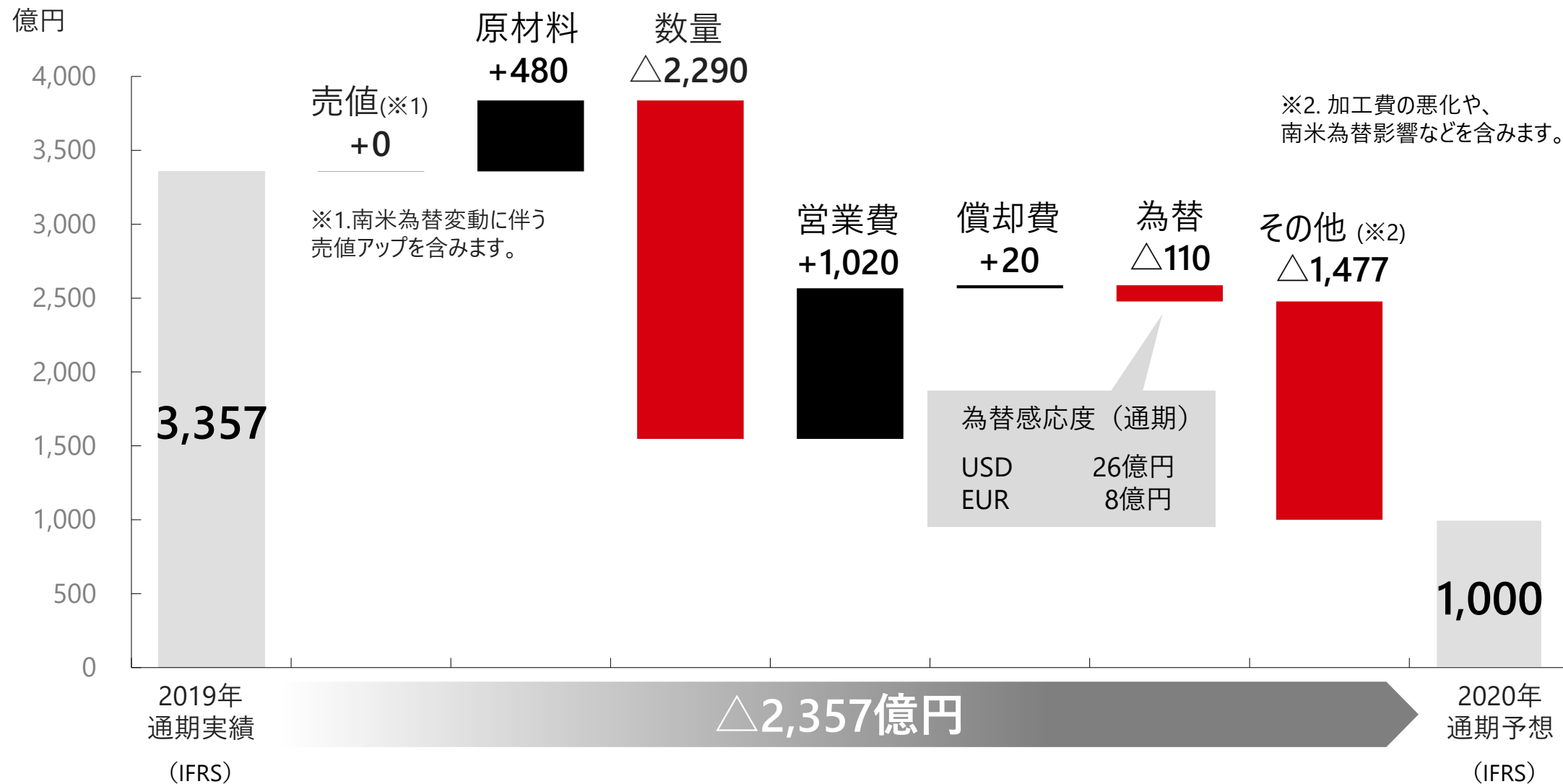
2020年通期 連結業績予想

(単位：億円)

【IFRS】	2019年 通期実績	2020年 通期予想	前年比増減 (%)	(参考 '20/2/17発表) 2020年通期予想
売上収益	35,072	27,000	△23	35,500
調整後営業利益	3,357	1,000	△70	3,600
利益率	9.6%	3.7%	△5.9pp	10.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,401	未定	-	2,300
USドル	109円	106円	△3円	108円
ユーロ	122円	119円	△3円	121円

親会社の所有者に帰属する当期利益については、COVID-19拡大の影響により、現時点では合理的に算出することが困難なため、未定とします。今後、合理的な算出が可能になり次第、速やかに開示いたします。

2020年通期 調整後営業利益増減要因予想：前年差



3. 配当予想の修正について

配当予想の修正について

株主還元の基本方針

- 利益配分については、①更なる成長のための投資に必要な内部留保を確保しつつ、②適正な財務体質の維持と③株主還元を図る。
- 配当については、当該期の業績、財政状態に加え、中期的な利益見通し、投資計画、キャッシュフロー等を総合的に勘案し、連結配当性向20-40%を目安に、安定した配当を継続的に実施する。

配当予想の修正

上期の四半期利益が赤字となる厳しい事業状況下、下記の考え方で配当予想を修正。

- ① 成長投資：戦略上必要な優先投資は確保しつつも、今期はキャッシュアウトをできる限り抑制。
(20年年間で年初計画対比 営業費 1,350億円、投資 1,120億円を削減見込み)
- ② 財務体質：COVID-19第2波リスクを見据え、引き続き強固なキャッシュポジションを維持。
- ③ 株主還元：①、②を勘案した上で、中長期の「安定的な株主還元」に留意した配当金額を決定。

	2019年度（実績）	2020年度	(参考 '20/2/17発表) 2020年通期予想
<修正配当予想>	中間	80円	80円
	期末	80円	80円
	合計	160円	160円

※通期業績予想が見通せない状況下、期末配当予想については未定とさせていただきます。



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。